

作品 No.078



生きものの“つぶやき”：
「ま～ただよ。」

エッセイ：

祖父母宅で従兄妹と一緒に農作業の手伝いをしていた。手伝いの休憩中に木陰で休んでいると、ふと目に入ってびっくりした。かなり木の色と同化しており、その大きさにとても迫力を感じた。ずっと見つめていると、その姿が、かくれんぼをして必死に木の裏に隠れているように見えてきた。普段みるようなカエルは、水辺にいるイメージが強く、このように木に掴まっている姿は新鮮で、どこか魅力を感じた。私も、この姿を見て作業の疲れが取れ、残り仕事を頑張ることができた。私もこのカエルのように大きく、たくましく生きていきたい。(254字)

生きものの紹介:

ヒキガエル

撮影場所・日時:

公園・2021年5月6日16時30分

応募者の自己紹介:

1. 浦上華冬／熊本農業高校・3年
2. 所属：卓球部
3. 将来の夢：農家

審査委員会からのコメント

こんな大きなカエルが木に上っているのは珍しいですね。カエルの体色擬態が、写真からもコメントからもよく伝わり、とても良いと思います。